

平成23年3月期決算説明会資料

平成23年5月18日



Best Synergy & Best Solution

	ページ
I. 平成23年3月期決算の概要	1
I-1. 決算の状況	2
I-2. セグメント別営業収益	3
I-3. セグメント別営業利益	4
I-4. 財政状態	5
I-5. キャッシュ・フローの状況	6
I-6. セグメント別設備投資額・減価償却費	7
II. 平成24年3月期見通し	8
II-1. 業績の通期見通し	9
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	10
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	11
II-4. 主な設備投資案件	12
III. グループの重点施策	13
III-1. 中期経営計画について	14
III-2. グループの重点施策	15
III-3. 経営戦略2010で掲げた数値目標及び実績	16
III-4. 経営戦略2010の損益実績及び今後の損益イメージ	17
III-5. 事業強化策 ①	18
III-5. 事業強化策 ②	19, 20
III-5. 事業強化策 ③	21

【補足資料】	ページ
①保管用倉庫面積・保管残高	23
②トランクルーム期末保管残高	24
③港湾運送取扱量	25
④国際輸送取扱量	26
⑤賃貸ビル面積	27

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありえますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I .平成23年3月期決算の概要

単位:百万円

決算期	平成22年3月期		平成23年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	121,619	100.0%	130,377	100.0%	8,757	7.2%
営業利益	7,910	6.5%	9,610	7.4%	1,700	21.5%
経常利益	8,433	6.9%	10,465	8.0%	2,032	24.1%
当期純利益	3,068	2.5%	4,372	3.4%	1,304	42.5%
1株当たり当期 純利益 (円)	17.20	—	24.51	—	—	—

営業収益	港湾運送や国際輸送の取扱いが回復したほか、連結子会社において前期に取扱いを開始した配送センター業務が通期寄与し、増収
営業利益	増収効果に加え、減価償却費等間接費用の減少もあり、大幅な増益
経常利益	受取配当金や持分法投資利益の増加等により、大幅な増益
当期純利益	減損損失など特別損失を計上する一方、受取補償金等の特別利益を計上したことから、大幅な増益

I-2. セグメント別営業収益

単位:百万円

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	増	減
1. 物流事業	111,610	120,526	8,915	8.0%
①倉庫収入	18,983	21,029	2,045	10.8%
②港湾運送収入	33,270	36,416	3,146	9.5%
③国際輸送収入	23,183	25,413	2,229	9.6%
④陸上運送ほか収入	36,172	37,667	1,494	4.1%
2. 不動産事業	10,430	10,267	▲162	▲1.6%
⑤不動産事業収入	10,430	10,267	▲162	▲1.6%
計	122,041	130,794	8,753	7.2%
消去又は全社	▲421	▲417	3	0.9%
営業収益	121,619	130,377	8,757	7.2%

①倉庫収入	入出庫の取扱いが増加したことに加え、連結子会社において前期に稼働した配送センター業務が通期寄与したことから、増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌が前期に取扱いを開始した新規航路と既存航路がともに好調であったほか、輸出入貨物の取扱いも増加に転じたことから、増収
③国際輸送収入	フォワーディング業務の取扱いが海上・航空ともに好調に推移したことに加え、主として東南アジア及び中国の海外子会社における貨物の取扱増加が寄与し、増収
④陸上運送ほか収入	連結子会社における陸上運送業務の取扱増加等に伴い、増収
⑤不動産事業収入	一部の賃貸物件においてテナントの退去や入替えが発生し、減収

単位:百万円

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	増	減
1. 物流事業	5,721	7,314	1,592	27.8%
2. 不動産事業	5,903	5,900	▲2	0.0%
計	11,624	13,214	1,589	13.7%
消去又は全社	▲3,714	▲3,603	110	3.0%
営業利益	7,910	9,610	1,700	21.5%

物流事業	主として港湾運送におけるコンテナ荷捌及び国際輸送における一貫輸送の取扱いが増加するなど限界利益が増加したことに加え、減価償却費等の間接費用が減少したことから、大幅に増益
不動産事業	一部の賃貸物件においてテナントの退去や入替えがあったため、微減益

単位：百万円

区 分	平成22年3月期末	平成23年3月期末	増 減 額
総 資 産	235,986	228,377	▲7,608
負 債	121,609	115,436	▲6,172
純 資 産	114,377	112,941	▲1,435
(うち少数株主持分)	(4,324)	(4,511)	186
自己資本比率	46.6%	47.4%	—
1株当たり純資産	616.54円	607.58円	▲8.96円

総 資 産	「投資有価証券」が、保有株式の株価下落により減少
負 債	その他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」や法人税の支払いに伴う「未払法人税等」が減少
純 資 産	「その他有価証券評価差額金」が減少

単位:百万円

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	14,523	10,075	▲4,448
投資活動によるCF	▲17,115	▲1,782	15,333
財務活動によるCF	▲1,682	▲3,227	▲1,545
現金及び現金同等物期末残高	10,484	15,249	4,764

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益は大幅に増加したが、法人税等の支払いが増加し、前期は法人税等の還付があったことにより、減少
投資活動によるCF	定期預金からの払戻や投資有価証券の取得の減少などにより、支出額が減少
財務活動によるCF	借入金の返済が新規調達を上回ったため、減少

設備投資額

単位:百万円

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	増 減 額
1. 物流事業	1,245	1,728	483
2. 不動産事業	297	150	▲147
計	1,543	1,879	336
3. 全社	124	120	▲4
連 結	1,667	1,999	331

減価償却費

単位:百万円

区 分	平成22年3月期	平成23年3月期	増	減
1. 物流事業	4,146	3,805	▲340	▲8.2%
2. 不動産事業	1,870	1,882	12	0.7%
計	6,016	5,688	▲328	▲5.5%
3. 全社	619	633	13	2.2%
連 結	6,635	6,321	▲314	▲4.7%

Ⅱ.平成24年3月期見通し

単位：百万円

決算期	平成23年3月期実績		平成24年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	130,377	100.0%	132,000	100.0%	1,622	1.2%
営業利益	9,610	7.4%	9,300	7.0%	▲310	▲3.2%
経常利益	10,465	8.0%	10,200	7.7%	▲265	▲2.5%
当期純利益	4,372	3.4%	5,900	4.5%	1,527	34.9%
1株当たり当期純利益（円）	24.51	—	33.08	—	—	—

営業収益	海外をはじめとする国際輸送や港湾運送の取扱いが、引き続き堅調に推移すると予想し、増収
営業利益	物流事業における新規稼働施設の一時費用が発生することや不動産事業における一部テナント退去の影響が見込まれることなどから、減益

営業収益

単位：百万円

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	120,526	122,550	2,023	1.7%
2. 不動産事業	10,267	9,850	▲417	▲4.1%
計	130,794	132,400	1,605	1.2%
消去又は全社	▲417	▲400	17	▲4.2%
営業収益	130,377	132,000	1,622	1.2%

営業利益

単位：百万円

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	7,314	7,500	185	2.5%
2. 不動産事業	5,900	5,500	▲400	▲6.8%
計	13,214	13,000	▲214	▲1.6%
消去又は全社	▲3,603	▲3,700	▲96	2.7%
営業利益	9,610	9,300	▲310	▲3.2%

設備投資額

単位:百万円

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増 減 額
1. 物流事業	1,728	5,400	3,671
2. 不動産事業	150	2,200	2,049
計	1,879	7,600	5,720
3. 全社	120	600	479
連 結	1,999	8,200	6,200

減価償却費

単位:百万円

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	3,805	3,800	▲5	▲0.2%
2. 不動産事業	1,882	1,800	▲82	▲4.4%
計	5,688	5,600	▲88	▲1.6%
3. 全社	633	700	66	10.6%
連 結	6,321	6,300	▲21	▲0.3%

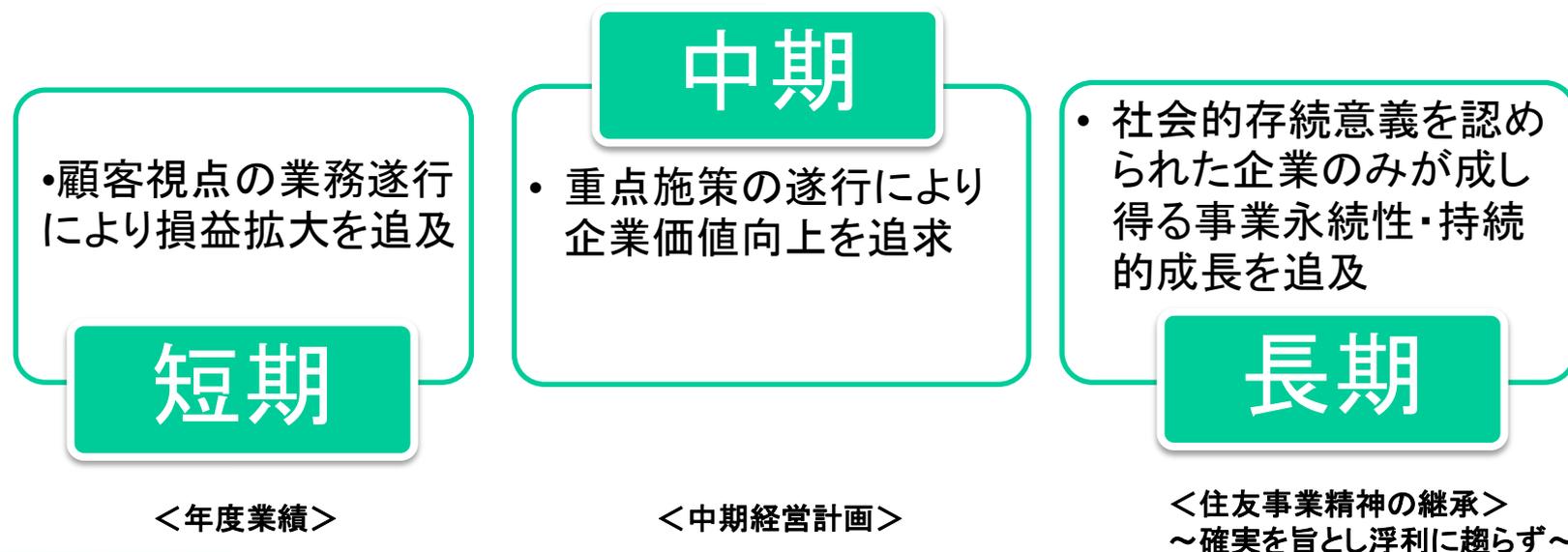
区 分		平成23年3月期	平成24年3月期 (通期見通し)
物流事業	(仮称) 羽生アーカイブセンター建設工事 (埼玉県羽生市) 工 期 : 平成23年2月~平成24年1月	3.8億円	34億円
不動産事業	淀屋橋オフィスビル建設工事 (大阪市中央区)	—	4億円
	ツインビル保全工事 (東京都中央区)	—	11億円

Ⅲ.グループの重点施策

平成23年3月期を最終年度とする中期経営計画「経営戦略2010」においては、「物流と不動産のソリューション・プロバイダー」として、顧客の新たな価値創造を物流面からサポートするとともに、長期的視点に基づく良質な不動産開発を推進いたしました。

とくに物流事業においては、顧客基盤の拡大、配送センター業務の強化、中国をはじめとする東南アジア及びサウジアラビア等での海外ビジネスの拡充に取り組み、収益の拡大や企業価値の最大化など所期の成果をあげてまいりました。

平成23年度からは、新たな中期経営計画を策定する予定でしたが、東日本大震災による経営環境への影響を見極めることとし、引き続き前中計で掲げた重点施策に取り組むことにより持続的成長を目指してまいります。



- 配送センター業務の拡大

倉庫



- 海外拠点の拡充

海外



- 設備拡充と最適ソリューションの提供

アーカイブ



- 保有資産の最適活用

不動産



- 事業領域の拡大

国際輸送



- 集貨営業力の強化

港湾

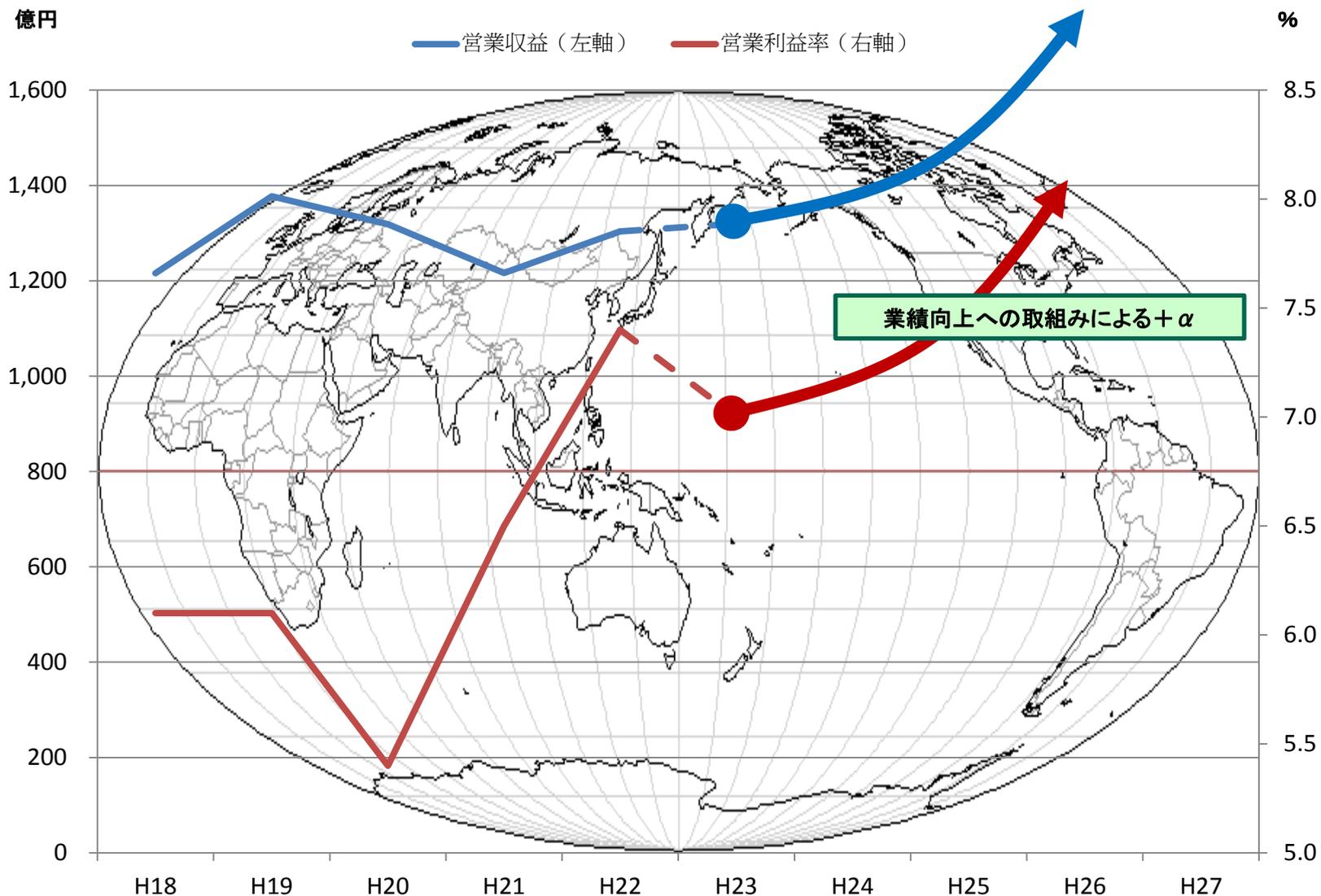


	平成22年度目標	平成22年度実績	達成率
連結営業収益(億円)	1,300	1,303	100.3%
連結営業利益(億円)	110.0	96.1	87.4%
ROE(%)	6.2	4.0	-2.2point

	H18	H19	H20	H21	H22	H22－H18
連結営業収益(億円)	1,216	1,377	1,319	1,216	1,303	+87
連結営業利益(億円)	73.7	84.6	71.3	79.1	96.1	+22.4
営業利益率(%)	6.1	6.1	5.4	6.5	7.4	+1.3point

	H18	H19	H20	H21	H22	H22－H18
ROE(%)	3.7	3.9	1.5	2.9	4.0	+0.3point
営業収益純利益率(%)	4.3	3.8	1.3	2.5	3.4	-0.9point
総資本回転率(%)	47.3	53.0	57.8	53.8	56.2	+8.9point
財務レバレッジ(%)	180.8	196.1	207.0	215.2	212.7	+31.9Point

Ⅲ-4. 経営戦略2010損益実績及び今後の損益イメージ



■羽生アーカイブセンター(仮称)第一期倉庫建設

	羽生トランクルーム営業所	羽生アーカイブセンター(仮称)
所在地	埼玉県羽生市(大沼工業団地)	埼玉県羽生市(川崎産業団地)
構造	鉄骨造PC板張、4階建	鉄筋コンクリート造4階建、免震構造
延床面積	36,368㎡(11,001坪)	24,300㎡(7,350坪)
設備	セキュリティ設備	窒素ガス消火、自家用発電、セキュリティ設備
稼働時期	第一期 平成10年5月 第二期 平成16年11月 第三期 平成19年8月	平成24年1月(予定)



(左:羽生トランクルーム及び羽生アーカイブセンター(仮称)の位置関係、右:羽生アーカイブセンター(仮称)完成予想図)

■中国・住友倉儲(中国)有限公司 第二期倉庫建設

	第一期倉庫(既存倉庫)	第二期倉庫(今回)
所在地	上海金橋輸出加工区内(上海市浦東新区)	
構造	鉄骨コンクリート造3階建 2棟	鉄筋コンクリート造3階建 1棟
延床面積	38,101㎡(約11,526坪)	12,731㎡(約3,851坪)
設備	エレベータ 8基+1基(乗用) ドックレベラー 6基	エレベータ 1基、オムニリフタ 2基 ドックレベラー 4基
竣工時期	平成20年4月(5月稼働)	平成24年6月(予定)



(左手前:住友倉儲(中国)有限公司 第二期倉庫完成予想図、右奥:第一期(既存)倉庫)

■中国・住友倉儲(中国)有限公司 杭州及び大連に分公司を設立

【大連分公司の概要】

- 1.名称:住友倉儲(中国)有限公司大連分公司
(英文名称:Sumitomo Warehouse(China) Ltd. Dalian Branch)
- 2.所在地:遼寧省大連市中山区
- 3.設立年月日:平成22年12月24日
- 4.事業内容:倉庫業、国際貨運代理業



- 当社グループ既存中国拠点
- 新拠点

【杭州分公司の概要】

- 1.名称:住友倉儲(中国)有限公司杭州分公司
(英文名称:Sumitomo Warehouse (China) Ltd. Hangzhou Branch)
- 2.所在地:浙江省杭州市杭州經濟技術開発区
- 3.設立年月日:平成22年6月24日
- 4.事業内容:倉庫業、陸運業(予定)

■グループ内における連携強化

～遠州トラックグループ大阪地区拠点の集約・拡大～

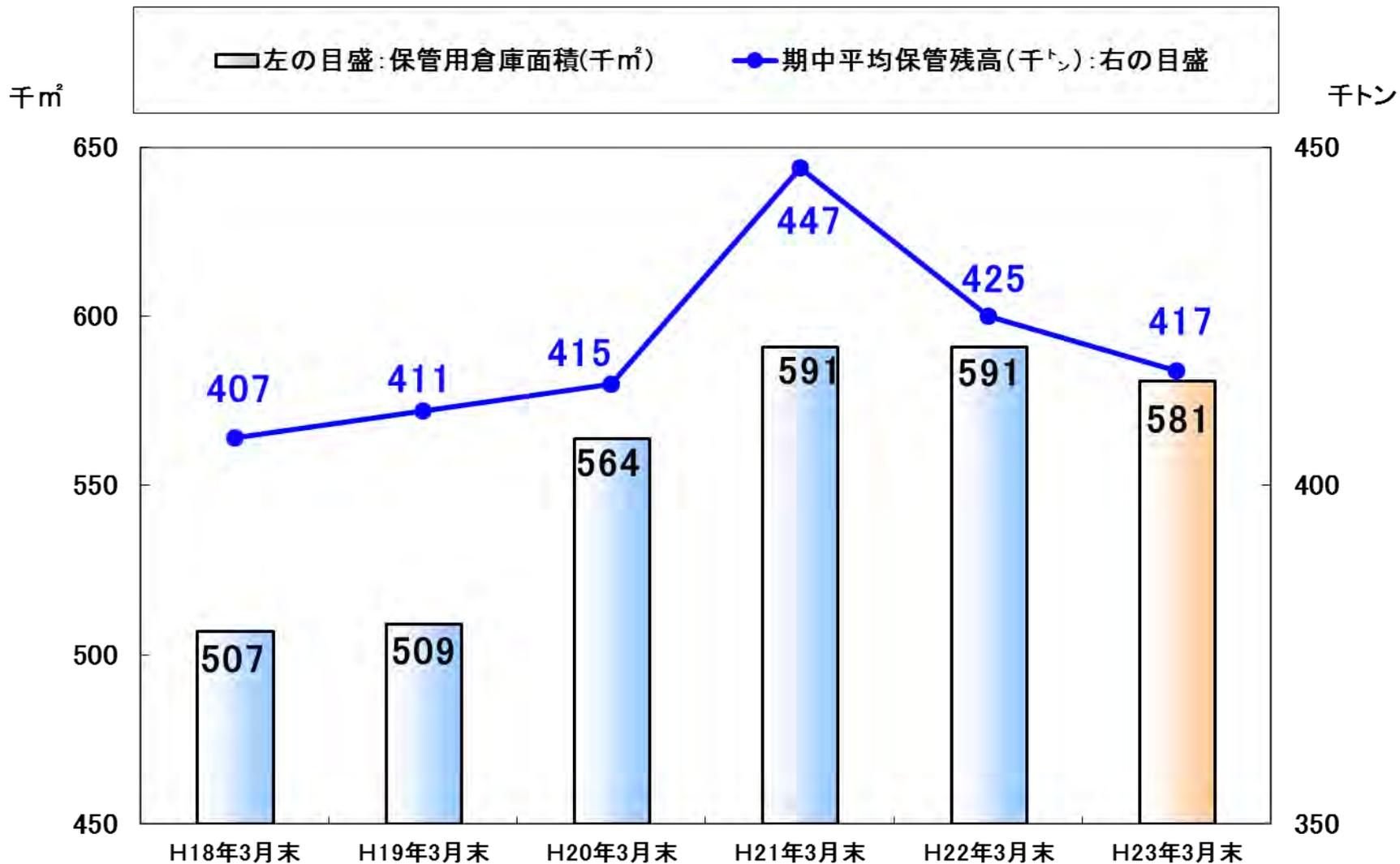
遠州トラックグループの大阪地区拠点を当社施設に集約し、4月から営業開始。
好立地を活かした営業拡大を目指す。

【事業所の概要】

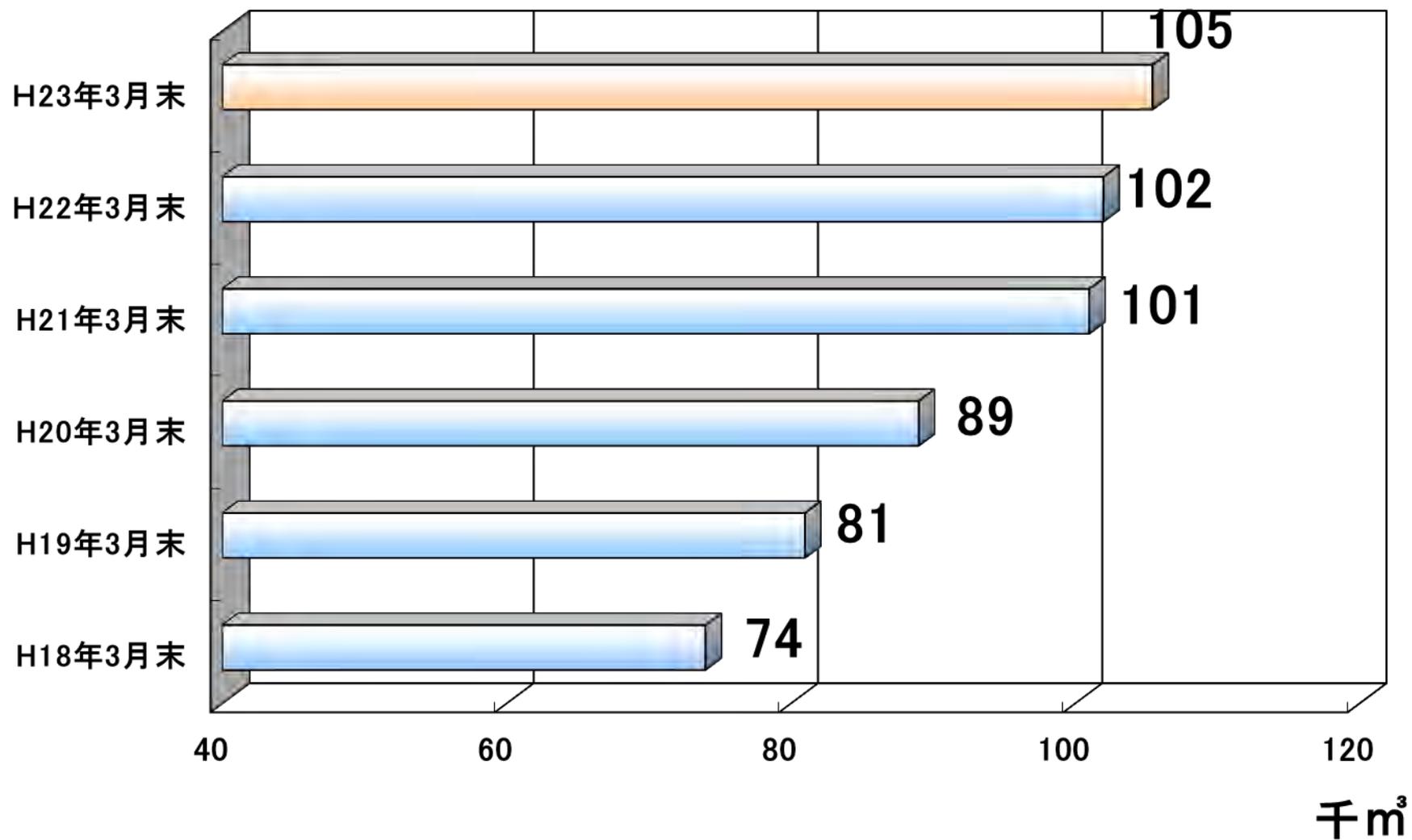
- ◆所在地：大阪府摂津市
- ◆賃貸面積：約2千坪

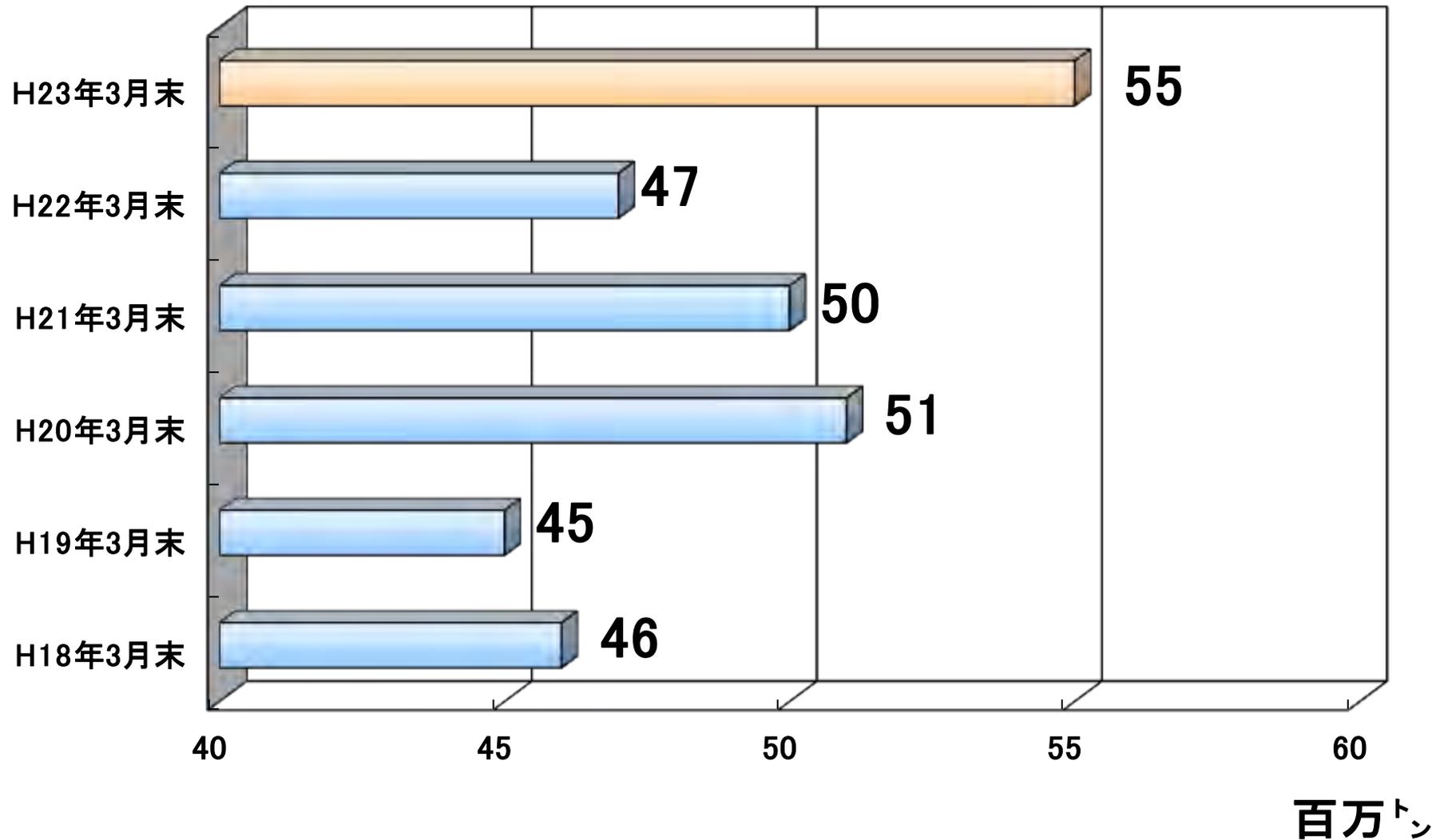


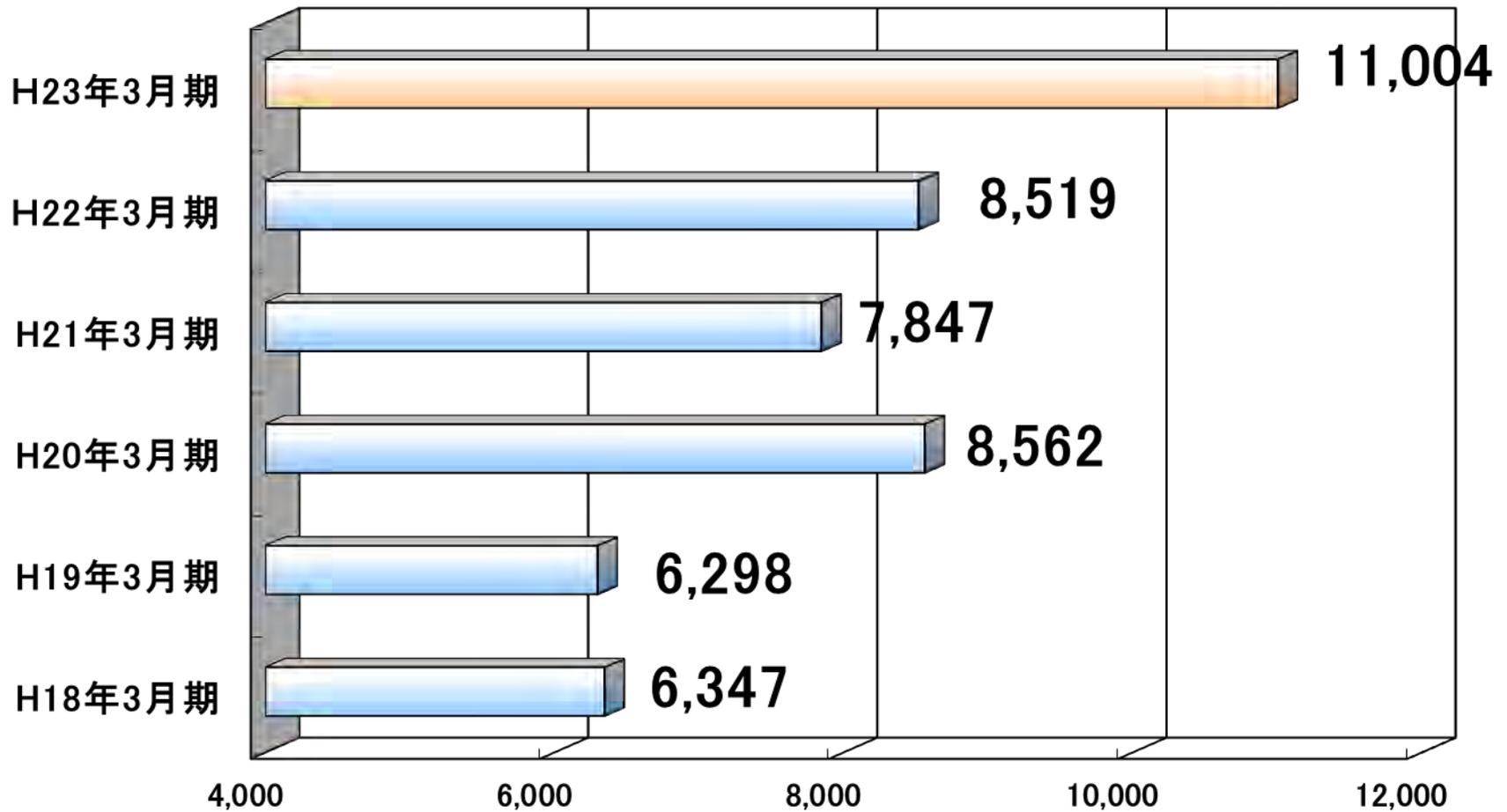
補 足 資 料



②トランクルーム期末保管残高

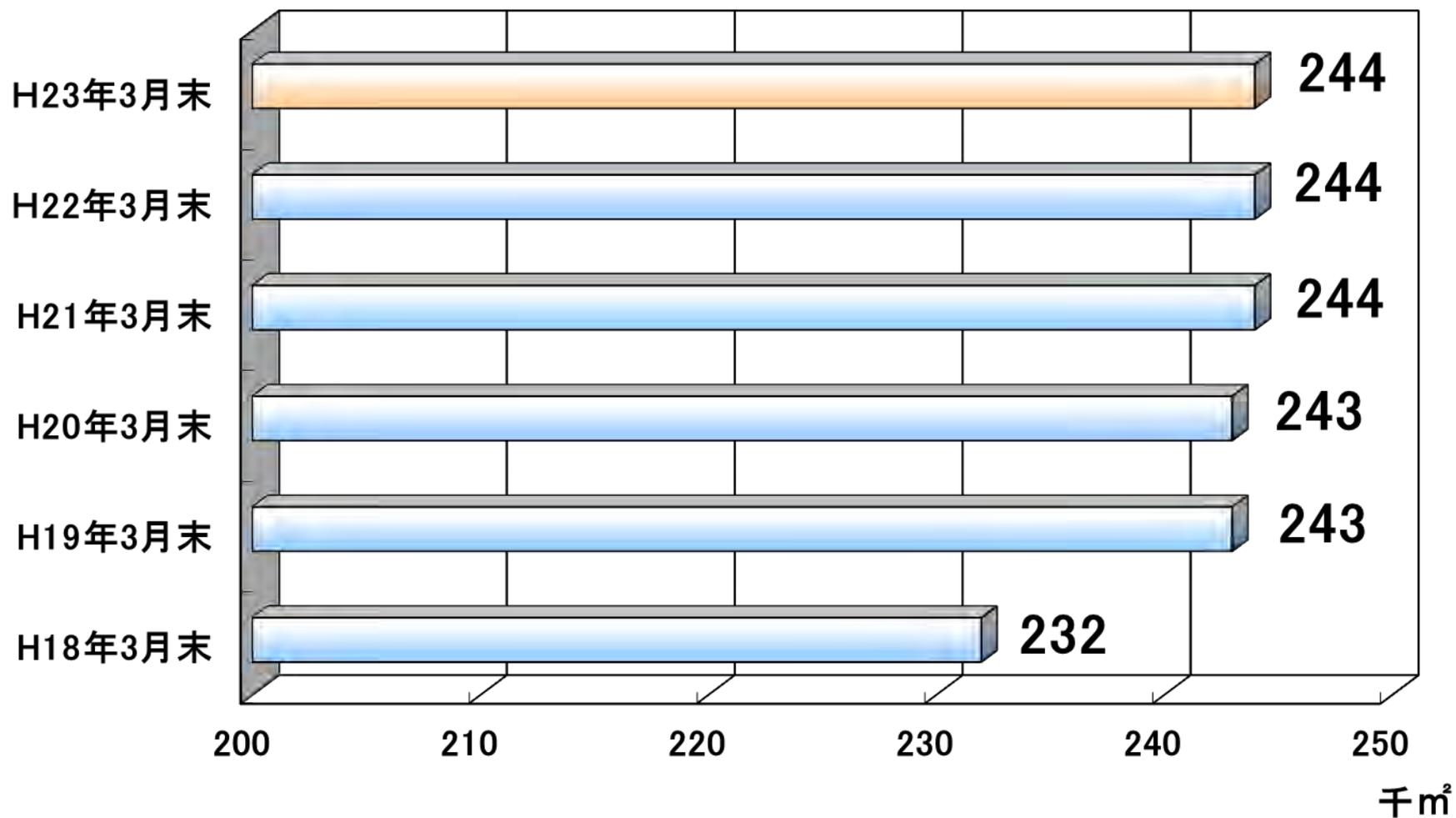






千トン

⑤賃貸ビル面積



本日はありがとうございました



ハードとソフトを効果的に組み合わせ
お客様にとって最適な価値を提案・実現する



Best Synergy & Best Solution



IRに関する連絡先

株式会社 住友倉庫 事業推進部広報IR課(担当:久保田)

〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5

TEL 06-6581-1104 FAX 06-6581-3870

E-Mail : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp